大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

（令和8年7月分【埋立中共通調査】）

【大気質、水質（一般項目）】

国土交通省　近畿地方整備局

大阪港湾局

大阪湾広域臨海環境整備センター

目　　次

Ⅰ　事後調査の概要

１．調査概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ Ⅰ－１

２．工事の実施状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ Ⅰ－３

３．調査結果の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ Ⅰ－４

Ⅱ　事後調査結果

１．大気質 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ Ⅱ－１

２．水質 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ Ⅱ－９

Ⅰ　事後調査の概要

１．調査概要

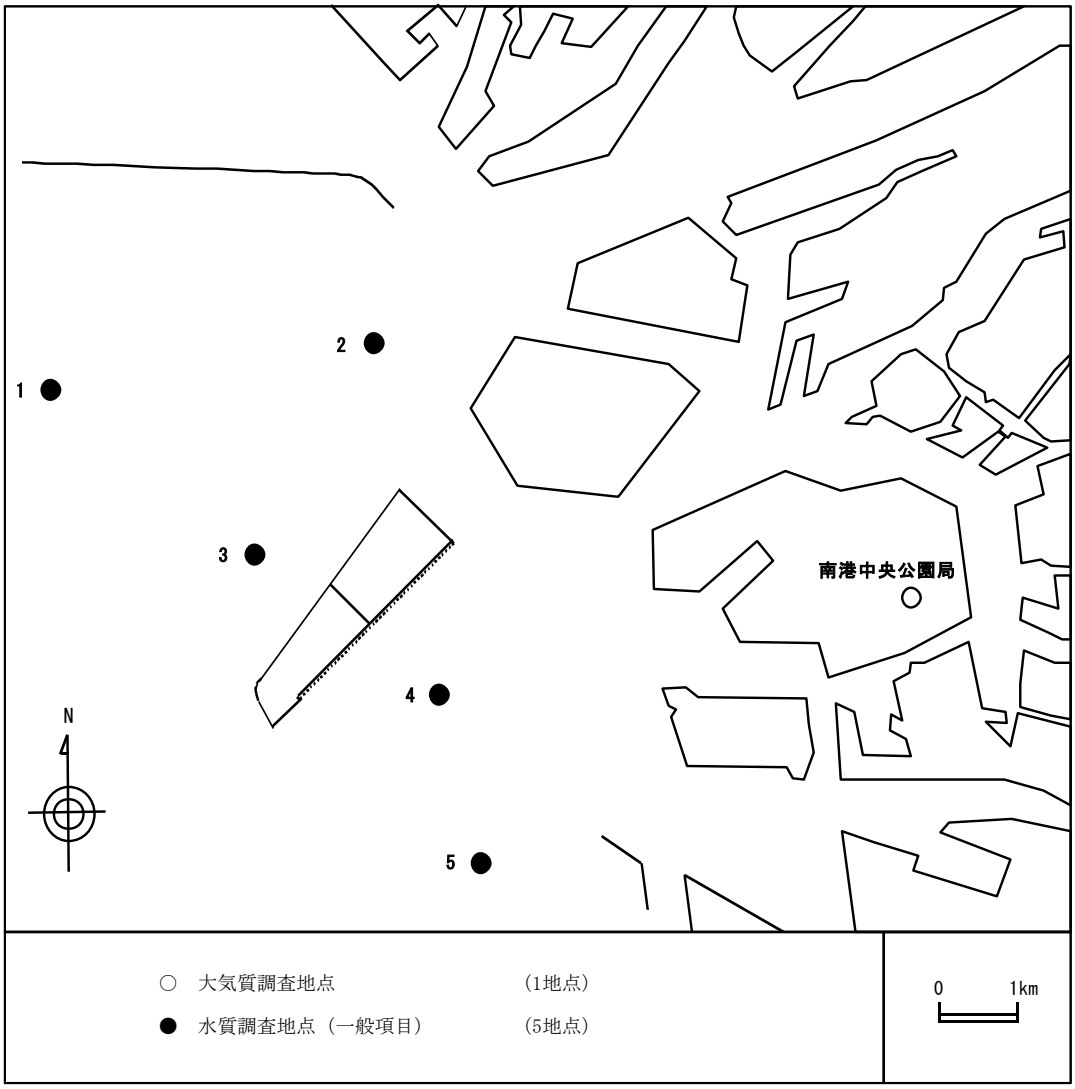
「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく令和８年７月（大気質、水質）の事後調査の概要は表－１に、調査地点の位置は図－１に示すとおりである。

表－１（1）事後調査の概要（埋立地周辺における調査　大気質）

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO_2) 窒素酸化物(NO_2、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	1点（南港中央公園局）	7月1日～31日	通年連続

表－１（2）事後調査の概要（埋立地周辺における調査　水質（一般項目））

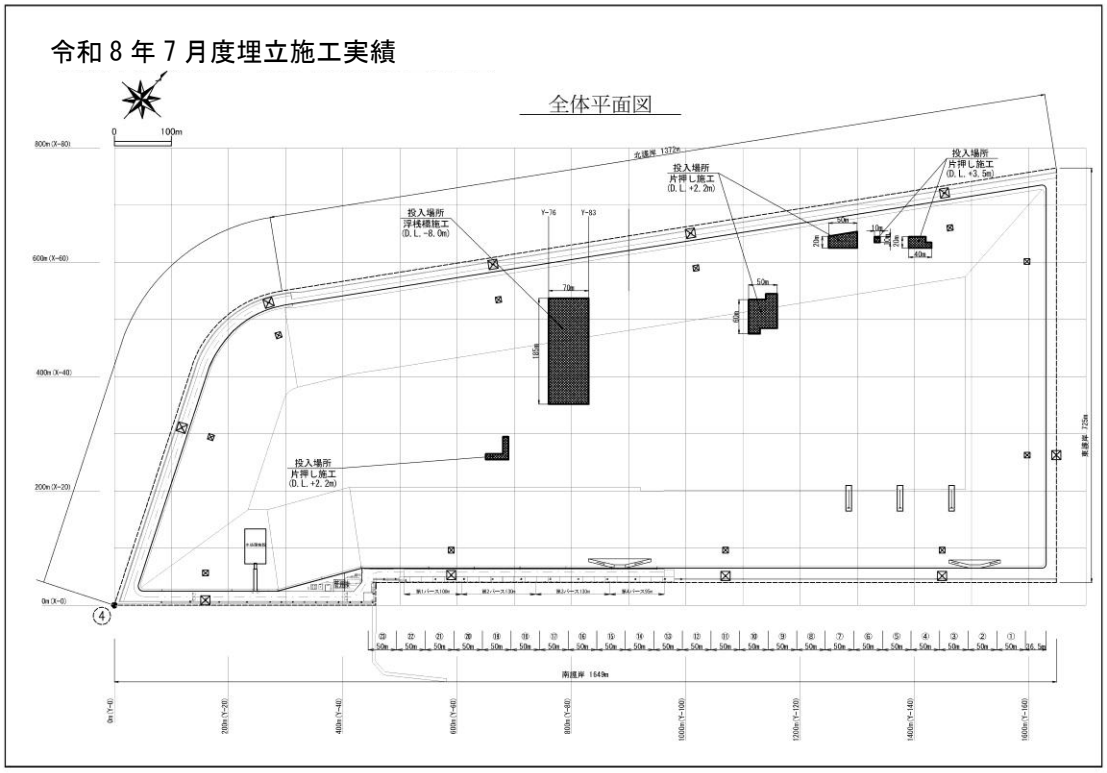
調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●生活環境項目 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全燐(T-P)	5点×2層 【1，2，3，4，5】 上層：海面下1m 下層：海底面上2m	7月21日	1回／月
●その他の項目 透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質量(SS) クロロフィルa			



図－1　大気質･水質(一般項目)の調査地点

２．工事の実施状況

令和８年７月の工事の実施状況は、図－２に示すとおりである。



埋立量(㎥)	進捗率(%)
9,267,978.8	66.3

埋立容量(計画量) ： 13,975,000 ㎥

図－２　工事の実施状況（大阪沖処分場平面図）

３．調査結果の概要

埋立地周辺における調査

（１） 大気質［大気質様式第１号～８号］

1）二酸化硫黄（SO_2）【環境基準値：日平均値 0.04ppm 以下、１時間値 0.1ppm 以下】

二酸化硫黄（SO_2）の月平均値は、0.005ppm であった。また、日平均値の最高値は 0.006ppm、１時間値の最高値は 0.009ppm であり、環境基準値を下回っていた。

2）二酸化窒素（NO_2）【環境基準値：日平均値 0.04～0.06ppm のゾーン内またはそれ以下】

二酸化窒素（NO_2）の月平均値は、0.015ppm であった。また、日平均値の最高値は 0.023ppm であり、環境基準値を下回っていた。

3）浮遊粒子状物質（SPM）【環境基準値：日平均値 0.10mg/m^3 以下、１時間値 0.20mg/m^3 以下】

浮遊粒子状物質（SPM）の月平均値は、0.022mg/m^3 であった。また、日平均値の最高値は 0.043mg/m^3、１時間値の最高値は 0.079mg/m^3 であり、環境基準値を下回っていた。

注）大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

（２）水質

①一般項目［水質様式第１号］

1）水素イオン濃度（pH）【環境基準値：7.8 以上 8.3 以下】

水素イオン濃度（pH）は上層で 8.6～8.9、下層で 7.8～7.9 であり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値の範囲内であった。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 1,5（8.7）、調査地点 2（8.8）、調査地点 3（8.6）及び調査地点 4（8.9）であった。調査地点 1,2,4,5 で、事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成 12 年度）の上層の 7.7～8.6 を超過していたが、調査地点 3 は範囲内であった。しかしながら、本調査と同一日に調査が実施された周辺の環境基準点においても、広範囲にわたって pH が環境基準値を上回っていたため、本事業による影響は非常に小さいと考えられる。

2）化学的酸素要求量（COD）【環境基準値：3mg/L 以下】

化学的酸素要求量（COD）は上層で 4.4～4.9mg/L、下層で 2.3～2.5mg/L の範囲であり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 1（4.5mg/L）、調査地点 2（4.9mg/L）、調査地点 3（4.4mg/L）、調査地点 4（4.8mg/L）及び調査地点 5（4.6mg/L）であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成 12 年度）の上層で 1.6～4.9mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業による影響は非常に小さいと考えられる。

3）**溶存酸素量**（DO）【環境基準値：5mg/L 以上】

溶存酸素量（DO）は上層で 8.1～10mg/L、下層で 2.7～4.1mg/L の範囲であり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を下回った調査結果は、下層の調査地点 1（3.1mg/L）、調査地点 2（2.7mg/L）、調査地点 3（4.1mg/L）、調査地点 4（2.9mg/L）及び調査地点 5（4.0mg/L）であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成 12 年度）は下層で 0.6～11mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業による影響は非常に小さいと考えられる。

4）**全窒素**（T-N）【環境基準値：0.6mg/L 以下】

全窒素（T-N）は上層で 0.41～0.88mg/L、下層で 0.30～0.44mg/L の範囲であり、上層では一部の調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 2（0.88mg/L）及び調査地点 4（0.63mg/L）であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成 12 年度）は上層で 0.46～2.1mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業による影響は非常に小さいと考えられる。

5）**全燐**（T-P）【環境基準値：0.05mg/L 以下】

全燐（T-P）は上層で 0.040～0.092mg/L、下層で 0.054～0.11mg/L の範囲であり、上層では過半数の調査地点において環境基準値を上回っており、下層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 2（0.092mg/L）、調査地点 4（0.064mg/L）及び調査地点 5（0.053mg/L）、下層の調査地点 1（0.059mg/L）、調査地点 2（0.081mg/L）、調査地点 3（0.055mg/L）、調査地点 4（0.11mg/L）及び調査地点 5（0.054mg/L）であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成 12 年度）は上層で 0.021～0.15mg/L、下層で 0.020～0.25mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業による影響は非常に小さいと考えられる。

6）**濁度**

濁度は上層で 1～2 度(ｶｵﾘﾝ)、下層で 2～4 度(ｶｵﾘﾝ)の範囲であった。

7）**浮遊物質量**（SS）

浮遊物質量（SS）は上層及び下層ともに 9～12mg/L の範囲であった。

8）**クロロフィル a**

クロロフィル a は上層で 4.0～28μg/L、下層で 1.6～2.7μg/L の範囲であった。

《 参 考 》

■環境基準値等（本報告関係分）

１．環境基準

（１）大気質

項目	基準値
二酸化硫黄 (SO_2)	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm 以下であり、かつ、 1 時間値が 0.1ppm 以下であること。
二酸化窒素 (NO_2)	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm から 0.06ppm までのゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1 時間値の 1 日平均値が 0.10mg/m^3 以下であり、かつ、 1 時間値が 0.20mg/m^3 以下であること。

（２）水質（海域）

類型	項目	基準値
B	水素イオン濃度 (pH)	7.8 以上 8.3 以下
	化学的酸素要求量 (COD)	3mg/L 以下
	溶存酸素量 (DO)	5mg/L 以上
	n-ﾍｷｻﾝ抽出物質（油分等）	検出されないこと
Ⅲ	全窒素 (T-N)	0.6mg/L 以下
	全燐 (T-P)	0.05mg/L 以下

注）１．水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及び n-ﾍｷｻﾝ抽出物質の基準値は日間平均値、全窒素及び全燐の基準値は年間平均値である。

２．化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。
公共用水域における環境基準（BOD 又は COD）の評価方法について（昭和 52 年環水管 52 号）

(1) 環境基準の水域類型を指定する際の水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全データのうち、あてはめようとする類型の基準値を満たしているデータ数を占める割合をもって評価するが、その割合が 75%以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。
なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「75%水質値」を用いるものとする。

75%水質値・・・年間の日平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ 0.75×n 番目（n は日間平均値のデータ数）のデータ値をもって 75%水質値（0.75×n 番目が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる）とする。

(2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について
環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち 75%以上のデータが基準値を満足している基準点を適合しているものと判断する。

(3) 複数の環境基準点を持つ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について
これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内のすべての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

２．事業実施前調査結果（平成 12 年度・水質（一般項目））

項目 ＼ 区分		事業実施前調査（平成 12 年度・調査地点 1～5）	
		最小値 ～ 最大値 (m/n)	平均値 (m/n)
水素イオン濃度 (pH) 〔－〕	上層	7.7 ～ 8.6 (13/60)	－
	下層	7.8 ～ 8.3 (0/60)	－
化学的酸素要求量 (COD) 〔mg/L〕	上層	1.6 ～ 4.9 (34/60)	3.2 ～ 3.9 (5/5)
	下層	1.2 ～ 3.6 (4/60)	2.0 ～ 2.2 (0/5)
溶存酸素量 (DO) 〔mg/L〕	上層	5.2 ～ 14 (0/60)	8.6 ～ 9.8
	下層	0.6 ～ 11 (14/60)	6.2 ～ 6.9
全窒素 (T-N) 〔mg/L〕	上層	0.46 ～ 2.1	0.91 ～ 1.1 (5/5)
	下層	0.29 ～ 0.82	0.44 ～ 0.49 (0/5)
全燐 (T-P) 〔mg/L〕	上層	0.021 ～ 0.15	0.061 ～ 0.098 (5/5)
	下層	0.020 ～ 0.25	0.038 ～ 0.063 (1/5)

注）１．「最小値～最大値」の値は、調査地点１～５における全調査地点の最小値と最大値を示す。
２．m：環境基準値を満たしていないデータ数、n：総データ数を示す。
３．「平均値」の値は、各調査地点における年平均値の最小～最大を示しているが、化学的酸素要求量の「平均値」は各調査地点における 75%値の最小～最大を示す。

Ⅱ　事後調査結果

大気質様式第１号（埋立地関連）

大気質測定結果総括表［令和８年７月分］

項目 ＼ 測定局		南港中央公園
二酸化硫黄	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	742
	１時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）	0
二酸化窒素	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）	0
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	739
	１時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）	0
	１時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）	0
浮遊粒子状物質	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.10mg/m^3を超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	741
	１時間値が0.20mg/m^3を超えた時間数（時間）	0
備考		

注）大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第２号（埋立地関連）

二酸化硫黄測定結果［令和８年７月分］

測　定　局		南港中央公園	
項　目		日平均値(ppm)	１時間値の最高値(ppm)
日別値	1　(水)	0.004	0.005
	2　(木)	0.004	0.005
	3　(金)	0.005	0.006
	4　(土)	0.005	0.006
	5　(日)	0.004	0.005
	6　(月)	0.004	0.005
	7　(火)	0.005	0.006
	8　(水)	0.004	0.005
	9　(木)	0.005	0.006
	10　(金)	0.004	0.005
	11　(土)	0.004	0.005
	12　(日)	0.005	0.005
	13　(月)	0.005	0.007
	14　(火)	0.005	0.006
	15　(水)	0.005	0.007
	16　(木)	0.005	0.006
	17　(金)	0.005	0.006
	18　(土)	0.005	0.006
	19　(日)	0.004	0.005
	20　(月)	0.005	0.006
	21　(火)	0.005	0.006
	22　(水)	0.006	0.009
	23　(木)	0.005	0.007
	24　(金)	0.005	0.006
	25　(土)	0.005	0.005
	26　(日)	0.004	0.006
	27　(月)	0.005	0.006
	28　(火)	0.005	0.007
	29　(水)	0.005	0.006
	30　(木)	0.006	0.008
	31　(金)	0.005	0.007
有効測定日数　(日)		31	
測定時間　(時間)		742	
月平均値　(ppm)		0.005	
日平均値の最高値 (ppm)		0.006	
１時間値の最高値 (ppm)		0.009	
１時間値が0.1ppmを超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.04ppmを超えた日数 (日)		0	

注）1.１日の測定時間が20時間未満であれば（　）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。
2.大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第３号（埋立地関連）

一酸化窒素測定結果［令和８年７月分］

測　定　局		南港中央公園	
項　目		日平均値(ppm)	１時間値の最高値(ppm)
日別値	1　(水)	0.004	0.013
	2　(木)	0.003	0.012
	3　(金)	0.001	0.004
	4　(土)	0.002	0.008
	5　(日)	0.001	0.002
	6　(月)	0.008	0.025
	7　(火)	0.004	0.012
	8　(水)	0.004	0.013
	9　(木)	0.004	0.016
	10　(金)	0.004	0.013
	11　(土)	0.002	0.006
	12　(日)	0.001	0.004
	13　(月)	0.003	0.014
	14　(火)	0.005	0.023
	15　(水)	0.003	0.013
	16　(木)	0.002	0.006
	17　(金)	0.001	0.004
	18　(土)	0.002	0.006
	19　(日)	0.001	0.004
	20　(月)	0.002	0.007
	21　(火)	0.003	0.016
	22　(水)	0.002	0.006
	23　(木)	0.003	0.016
	24　(金)	0.004	0.020
	25　(土)	0.001	0.002
	26　(日)	0.000	0.002
	27　(月)	0.002	0.004
	28　(火)	0.002	0.008
	29　(水)	0.002	0.009
	30　(木)	0.002	0.007
	31　(金)	0.001	0.003
有効測定日数　(日)		31	
測定時間　(時間)		739	
月平均値　(ppm)		0.003	
日平均値の最高値 (ppm)		0.008	
１時間値の最高値 (ppm)		0.025	

注）1.１日の測定時間が20時間未満であれば（　）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。
2.大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第４号（埋立地関連）

二酸化窒素測定結果［令和８年７月分］

測　定　局		南港中央公園	
項　目		日平均値(ppm)	１時間値の最高値(ppm)
日別値	1 （水）	0.023	0.033
	2 （木）	0.011	0.024
	3 （金）	0.016	0.035
	4 （土）	0.018	0.033
	5 （日）	0.011	0.020
	6 （月）	0.022	0.030
	7 （火）	0.020	0.041
	8 （水）	0.014	0.019
	9 （木）	0.017	0.031
	10 （金）	0.013	0.030
	11 （土）	0.009	0.016
	12 （日）	0.009	0.017
	13 （月）	0.016	0.038
	14 （火）	0.017	0.028
	15 （水）	0.016	0.030
	16 （木）	0.015	0.027
	17 （金）	0.018	0.027
	18 （土）	0.011	0.022
	19 （日）	0.008	0.012
	20 （月）	0.009	0.016
	21 （火）	0.012	0.023
	22 （水）	0.014	0.032
	23 （木）	0.017	0.029
	24 （金）	0.015	0.025
	25 （土）	0.010	0.016
	26 （日）	0.008	0.021
	27 （月）	0.016	0.029
	28 （火）	0.016	0.027
	29 （水）	0.019	0.031
	30 （木）	0.016	0.027
	31 （金）	0.020	0.044
有効測定日数　（日）		31	
測定時間　（時間）		739	
月平均値　（ppm）		0.015	
日平均値の最高値（ppm）		0.023	
１時間値の最高値（ppm）		0.044	
１時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）		0	
１時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数　（時間）		0	
日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）		0	
日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数　（日）		0	

注）1.１日の測定時間が20時間未満であれば（　）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。
2.大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第５号（埋立地関連）

窒素酸化物（ＮＯ＋ＮＯ$_2$）測定結果［令和８年７月分］

測定局		南港中央公園		
項目		日平均値		１時間値の最高値 (ppm)
		(ppm)	NO_2／(NO+NO_2)(%)	
日別値	1 (水)	0.027	86.0	0.043
	2 (木)	0.013	78.5	0.029
	3 (金)	0.017	92.9	0.037
	4 (土)	0.020	89.9	0.035
	5 (日)	0.012	93.6	0.022
	6 (月)	0.031	72.7	0.055
	7 (火)	0.024	83.5	0.044
	8 (水)	0.018	77.9	0.030
	9 (木)	0.021	79.6	0.047
	10 (金)	0.017	75.0	0.043
	11 (土)	0.011	83.0	0.021
	12 (日)	0.010	89.2	0.017
	13 (月)	0.019	82.1	0.047
	14 (火)	0.021	78.5	0.045
	15 (水)	0.018	85.8	0.043
	16 (木)	0.016	89.5	0.027
	17 (金)	0.019	93.1	0.031
	18 (土)	0.013	87.1	0.028
	19 (日)	0.009	86.9	0.014
	20 (月)	0.011	81.2	0.018
	21 (火)	0.015	80.3	0.033
	22 (水)	0.017	87.1	0.033
	23 (木)	0.021	84.2	0.045
	24 (金)	0.018	80.6	0.042
	25 (土)	0.011	91.4	0.018
	26 (日)	0.009	94.7	0.022
	27 (月)	0.017	90.9	0.031
	28 (火)	0.018	90.3	0.035
	29 (水)	0.021	90.4	0.035
	30 (木)	0.018	91.2	0.031
	31 (金)	0.021	93.9	0.047
有効測定日数 (日)		31		
測定時間 (時間)		739		
月平均値 (ppm)		0.017		
日平均値の最高値 (ppm)		0.031		
１時間値の最高値 (ppm)		0.055		
月平均値 NO_2／(NO+NO_2) (%)		85.3		

注) 1. １日の測定時間が20時間未満であれば( )書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. NO_2/(NO+NO_2)の算定方法は、下記のとおりである。

日(月)平均値NO_2/(NO+NO_2)＝

(NO及びNO_2が同時測定されている時間のNO_2濃度の日(月)間にわたる総和)／

(NO及びNO_2が同時測定されている時間のNO+NO_2濃度の日(月)間にわたる総和)

3. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第６号（埋立地関連）

浮遊粒子状物質測定結果［令和８年７月分］

測　定　局		南港中央公園	
項　目		日平均値(mg/m^3)	１時間値の最高値(mg/m^3)
日別値	1　(水)	0.029	0.042
	2　(木)	0.011	0.024
	3　(金)	0.015	0.024
	4　(土)	0.017	0.035
	5　(日)	0.011	0.024
	6　(月)	0.007	0.013
	7　(火)	0.011	0.028
	8　(水)	0.013	0.023
	9　(木)	0.015	0.025
	10　(金)	0.011	0.027
	11　(土)	0.009	0.017
	12　(日)	0.017	0.034
	13　(月)	0.025	0.038
	14　(火)	0.025	0.047
	15　(水)	0.031	0.055
	16　(木)	0.024	0.039
	17　(金)	0.027	0.061
	18　(土)	0.033	0.048
	19　(日)	0.028	0.036
	20　(月)	0.027	0.041
	21　(火)	0.037	0.072
	22　(水)	0.043	0.079
	23　(木)	0.042	0.070
	24　(金)	0.022	0.044
	25　(土)	0.023	0.036
	26　(日)	0.021	0.032
	27　(月)	0.015	0.024
	28　(火)	0.025	0.059
	29　(水)	0.024	0.040
	30　(木)	0.022	0.040
	31　(金)	0.025	0.045
有効測定日数　(日)		31	
測定時間　(時間)		741	
月平均値　(mg/m^3)		0.022	
日平均値の最高値 (mg/m^3)		0.043	
１時間値の最高値 (mg/m^3)		0.079	
１時間値が0.20mg/m^{3}を超えた時間数　(時間)		0	
日平均値が0.10mg/m^{3}を超えた日数　(日)		0	

注）1.１日の測定時間が20時間未満であれば（　）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。
2.大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第７号（埋立地関連）

気象観測結果（風向・風速）［令和８年７月分］

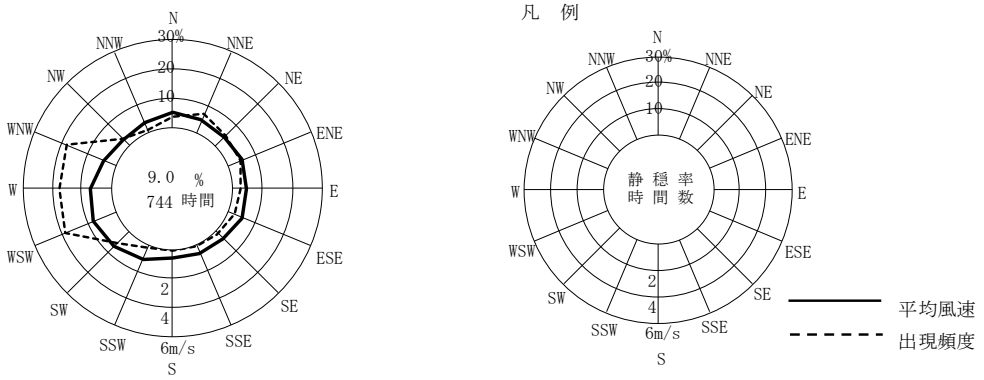
測定局		南港中央公園			
項目		風速			最多風向
		平均風速 (m/s)	最大風速		
			風速 (m/s)	風向 16方位	16方位
日別値	1 (水)	0.6	1.5	ESE	ESE
	2 (木)	1.6	3.6	WSW	WSW
	3 (金)	1.1	2.0	NNE,WNW	NNE
	4 (土)	0.8	2.0	ENE	NNE
	5 (日)	0.7	1.2	ENE	ENE
	6 (月)	0.9	1.3	NE,NNE	NE
	7 (火)	0.9	1.6	NNE,ENE	NNE
	8 (水)	1.0	2.3	WSW	WNW
	9 (木)	0.9	2.3	WSW	WNW
	10 (金)	1.2	2.5	W,WNW	WNW
	11 (土)	1.2	3.4	WSW	WNW
	12 (日)	1.0	2.0	WSW	WSW
	13 (月)	1.0	2.1	WSW	WSW
	14 (火)	1.1	2.5	WSW	WSW
	15 (水)	0.9	2.1	WSW	WNW
	16 (木)	1.3	2.6	WSW	W
	17 (金)	1.1	2.7	W	WNW
	18 (土)	1.0	2.7	W	WNW
	19 (日)	1.1	3.0	W	WNW
	20 (月)	1.2	2.6	W,WSW	WNW
	21 (火)	1.2	2.4	W	WSW
	22 (水)	1.3	2.3	WSW	WSW
	23 (木)	1.2	2.6	W	W
	24 (金)	1.3	2.6	W	W
	25 (土)	1.3	3.6	W	NNE
	26 (日)	1.2	2.3	WSW	N
	27 (月)	1.0	2.3	NNE	NNE
	28 (火)	1.2	3.3	W	W
	29 (水)	1.1	2.9	SW	WSW
	30 (木)	1.2	2.1	WSW	WSW
	31 (金)	1.1	2.5	SW	WSW
測定時間 (時間)		744			
月平均風速 (m/s)		1.1			
月最大風速 (m/s)		3.6			
月最多風向 (16方位)		WSW			

注）1.１日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。
2.大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

風向別出現頻度及び風向別平均風速［令和８年７月分］

方位 / 項目	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定時間数
度　数	52	35	31	20	16	8	4	3	6	41	138	128	131	26	8	30	67	744
頻　度（%）	7.0	4.7	4.2	2.7	2.2	1.1	0.5	0.4	0.8	5.5	18.5	17.2	17.6	3.5	1.1	4.0	9.0	－
平均風速(m/s)	1.0	0.8	1.0	0.9	1.0	0.7	0.6	0.6	1.0	1.4	1.6	1.4	0.9	0.6	0.7	1.1	0.2	－

測定局：南港中央公園局　　風向風速計高さ：14.2m



注）大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

風配図［令和８年７月分］

水質様式第１号

水質調査結果（一般項目）[令和８年７月分]

調査日：令和8年7月21日

項目＼調査点		1	2	3	4	5	最小値 ～ 最大値	平均値
時刻		8:19	8:02	8:34	9:05	8:53	－	－
透明度	[m]	1.8	1.5	1.9	1.2	1.7	1.2 ～ 1.9	1.6
水温		29.5	29.5	28.7	29.6	29.9	28.7 ～ 29.9	29.4
	[℃]	22.7	23.0	23.2	22.3	23.1	22.3 ～ 23.2	22.9
塩分		23.1	20.9	26.7	22.4	25.2	20.9 ～ 26.7	23.7
	[－]	31.7	30.9	31.4	31.8	31.5	30.9 ～ 31.8	31.5
濁度		2	2	1	2	2	1 ～ 2	2
	[度(ｶｵﾘﾝ)]	4	3	2	2	3	2 ～ 4	3
浮遊物質量（ＳＳ）		10	12	9	10	12	9 ～ 12	11
	[mg/L]	12	10	9	9	12	9 ～ 12	10
水素イオン濃度		8.7	8.8	8.6	8.9	8.7	8.6 ～ 8.9	－
（ｐＨ）	[－]	7.9	7.8	7.9	7.9	7.9	7.8 ～ 7.9	－
化学的酸素要求量		4.5	4.9	4.4	4.8	4.6	4.4 ～ 4.9	4.6
（ＣＯＤ）	[mg/L]	2.4	2.4	2.3	2.5	2.5	2.3 ～ 2.5	2.4
溶存酸素量	濃　度	8.1	9.4	8.1	10	8.4	8.1 ～ 10	8.8
	[mg/L]	3.1	2.7	4.1	2.9	4.0	2.7 ～ 4.1	3.4
（ＤＯ）	飽和度	121	139	122	149	128	121 ～ 149	132
	[%]	43	38	58	40	56	38 ～ 58	47
全窒素		0.42	0.88	0.41	0.63	0.46	0.41 ～ 0.88	0.56
（Ｔ－Ｎ）	[mg/L]	0.32	0.44	0.32	0.44	0.30	0.30 ～ 0.44	0.36
全燐		0.040	0.092	0.043	0.064	0.053	0.040 ～ 0.092	0.058
（Ｔ－Ｐ）	[mg/L]	0.059	0.081	0.055	0.11	0.054	0.054 ～ 0.11	0.072
クロロフィルａ		4.0	28	5.6	15	7.8	4.0 ～ 28	12
(chl.a)	[μg/L]	1.9	1.6	2.7	2.0	2.7	1.6 ～ 2.7	2.2

注）上段：上層（海面下1m）
　　下段：下層（海底面上2m）

特記事項